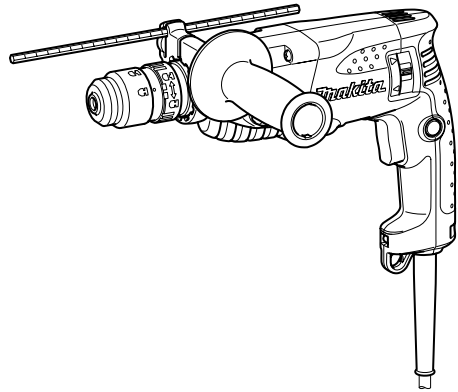
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

18mm
ハンマドリル

回 モデル HR1830FT

（正逆転両用・ライト付・クイックチェンジ仕様）

二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要のない製品です。
このマークを表示した製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、又は準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは **18mm ハンマドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル / 主要機能	HR1830FT
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100V
電流	4.6A
周波数	50-60Hz
消費電力	440W
回転数	0 ～ 1,500min^{-1}（回転 / 分）
打撃数	0 ～ 5,000min^{-1}（回 / 分）
穴あけ能力	コンクリート :18mm 鉄工 13mm 木工 24mm
機体寸法	長さ 307mm ×幅 66mm ×高さ 208mm
質量	1.9kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-9

・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
・ 作業場は十分に明るくしてください。
・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。
・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。
・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。
・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
・ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。
・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠警告

10. 防音用保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。
- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用しない、又は修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ハンマドリル安全上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け本体を両手で確実に保持してください。
3. 使用中は、工具類（ビットなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
4. 作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ビットなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
6. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、又は当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
7. シリカや石綿は人体に有害です。このような材料に穴あけする時は、防じん対策をしてください。

⚠注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
2. 使用中は、軍手などの巻き込まれる恐れのある手袋をしないでください。
3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
5. 作業直後の工具類（ビットなど)、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。
6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
7. 使用前に必ずネジ類にゆるみがないか点検してください。

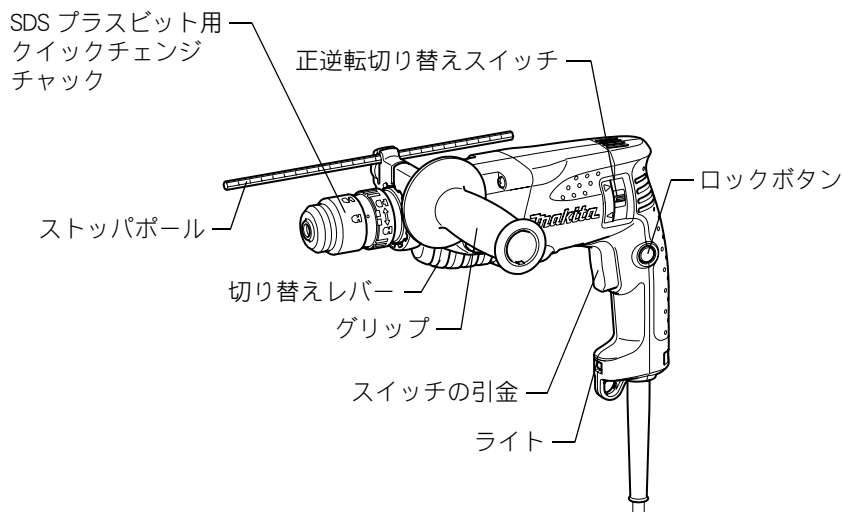
注

・気温が低いとき、あるいは長時間使用しなかったときにはグリスが固くなってモーターが回転しても打撃しない場合があります。このような場合には数分間空運転し、本機があたたまってからご使用ください。
・電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm^2	20m	—	—
1.25mm^2	30m	15m	10m
2.0mm^2	50m	30m	20m

・延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

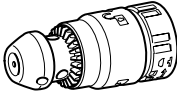
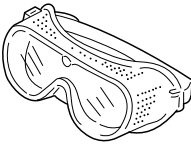
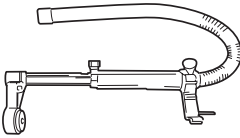
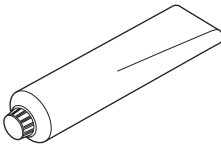
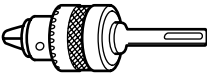
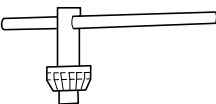
各部の名称および標準付属品

標準付属品

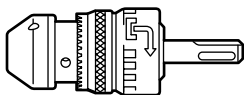
・ ストッパポール

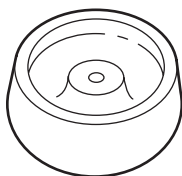
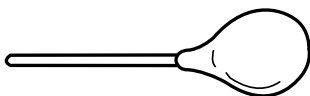
・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。

・ クイックハンマチャック
部品番号：A-45761

・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
部品番号：191686-2

・ 吸じん装置セット品
部品番号：193472-7

・ ビット用グリス
部品番号：A-4300

・ ドリルチャックアッセンブリ（チャックキー別売）
部品番号：A-44797
(木工、鉄工用)

・ チャックキー S13
部品番号：763432-9

別販売品のご紹介

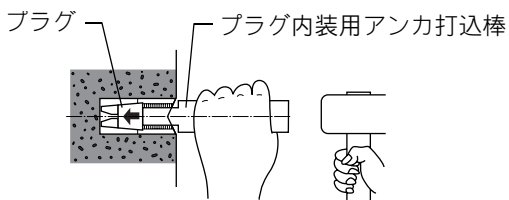
・　SDS プラスハンマチャックセット品
　　(チャックキー、防じん用ゴムキャップ 1 個付)
　　部品番号：A-31544

・　ダストカップ (粉じん受け用)

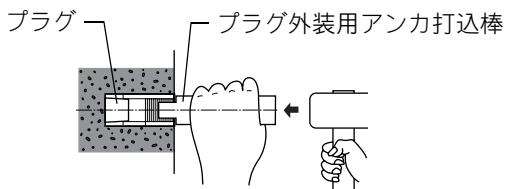
名称	対応ドリルサイズ	部品番号
5	ϕ 6.0 ～ 14.5	421342-3
9	ϕ 12.0 ～ 16.0	421664-1

・　スポイド (粉じん吹出し用)
　　部品番号 765009-6

別販売品のご紹介

・ 超硬ドリル (SDS プラスビット)

径 (mm)	全長 - 有効長 (mm)			
	110-50	160-100	210-150	260-200
	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号
3.4	A-36136	A-41698	-	
3.5	A-41676	A-41707	-	
4.0	A-11885	-	-	
4.3	A-11900	A-40646	-	
4.5	A-11922	A-41713	-	
4.8	A-03648	A-41729	-	
5.0	A-03660	A-40652	-	
5.1	-	A-41735	-	
5.3	-	A-40668	A-41872	
5.5	A-11944	A-41741	A-41888	
6.0	A-03682	A-41757	A-41894	
6.4	A-03707	A-41763	-	
6.5	A-03729	A-41779	-	
7.0	A-03741	A-41785	-	
7.5	-	A-03763	-	
8.0	A-41682	A-03785	-	A-41903
8.5	-	A-03800	-	A-41919
9.0	-	A-11966	-	
9.5	-	A-11988	-	
10.0	-	A-03822	-	A-41925
10.5	-	A-03844	-	A-41931
11.0	-	A-03866	-	A-41947
12.0	-	A-03888	-	A-41953
12.5	-	A-03903	-	A-41969
12.7	-	A-03925	-	A-41975
13.0	-	A-12005	-	A-41981
13.5	-	A-12027	-	A-41997
14.0	-	A-12049	-	A-42008
14.3	-	A-03947	-	A-42014
14.5	-	A-03969	-	A-42020
15.0	-	A-12061	-	A-42036
16.0	-	A-19299	-	A-42042
16.5	-	A-19308	-	A-42058
17.0	-	A-41791	-	A-42064
17.5	-	A-41800	-	A-42070
18.0	-	A-41816	-	A-42086

別販売品のご紹介

・　プラグ内装用アンカ打込棒 (手打用)

めねじ径	部品番号
W1/4(2 分)	A-44080
W5/16(2 分半)	A-44096
W3/8(3 分)	A-44105
W1/2(4 分)	A-44111

・　プラグ外装用アンカ打込棒 (手打用)

めねじ径	部品番号
W1/4(2 分)	A-44127
W5/16(2 分半)	A-44133

・　コアビット

穴径（mm）	全長（mm）	部品番号
35	108	A-21618

・　センタービット (コアビット用)
部品番号：A-44074

・　コアビットアダプタ (コアビット用)
部品番号：A-30156

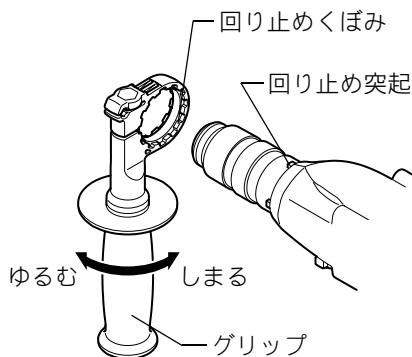
・　ロッド (コアビット用)
部品番号：A-44052

使い方

グリップについて

⚠警告

グリップは必ず取り付け、本機を両手で確実に保持して作業してください。
・　確実に保持していないと、けがの原因になります。

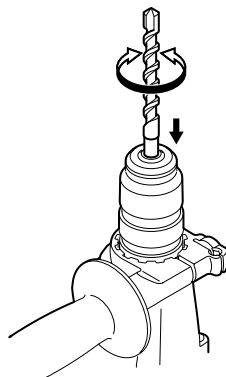
・　グリップは本機に取り付け、本機の回り止め突起とグリップの回り止めくぼみがかみ合うようにして、しっかり締め付けてご使用ください。
・　グリップは 360　度回すことができます。回り止め突起がはずれるところまでグリップを動かし作業しやすい位置に回転させ再び回り止め突起がかみ合うように固定してご使用ください。
・　ストッパポールを使用しますと本機とストッパポールが当たってグリップが回らない位置もあります。

ビットの取り付け・取りはずし方

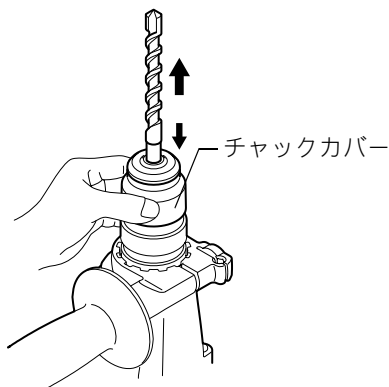
⚠警告

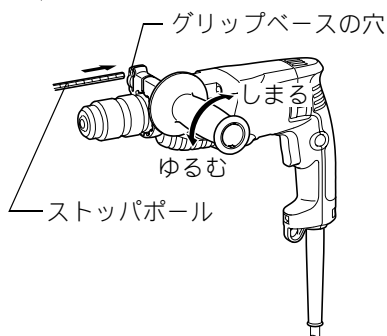
ビットの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・　電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、事故の原因になります。

SDS プラスビット用クイックチェンジチャックの場合

取り付け方

・　ビットの挿入部をきれいにし、丸溝部にビット用グリスを塗布します。
・　ビットを差し込みます。
・　ビットを回しながら位置を合わせ、奥まで差し込みます。
・　ビットを引っぱって抜けないことを確認してください。

取りはずし方

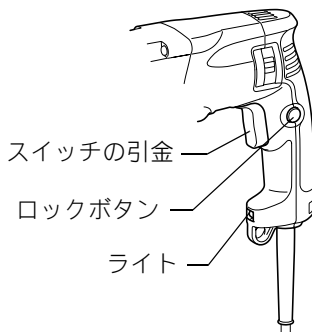
・ チャックカバーをいっぱいまで引いた状態で、ビットを引き抜いてください。

ストッパポールの使い方

・ 同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。
・ ストッパポールはグリップをゆるめ、グリップベースの六角穴に差し込んでお望みの長さに調整してください。調整後はグリップをしっかり締め付けて固定してください。

スイッチの操作

⚠警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。停止させるにはもう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を離してください。
・ スイッチは引金の引き加減によりお望みの回転数および打撃数が得られます。

ライトの点灯

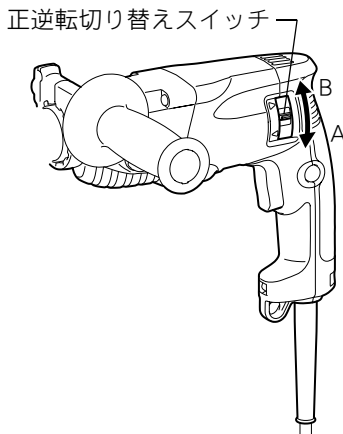
⚠ 警告
ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。 ・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

・ スイッチの引き金を引くと点灯し、離すと消灯します。

注

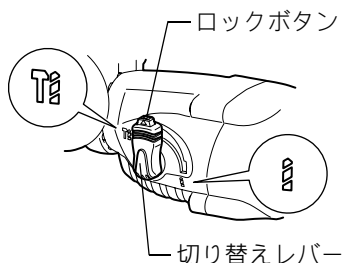
・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布等で拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
・ ライトレンズの掃除の際は、ガソリン・シンナーなどでふかないでください。レンズを傷めます。

正逆転切り替えスイッチの操作

・ 正逆転切り替えスイッチを◁側 (A 側) にすると右回転 (正転) し、▷側 (B 側) にすると左回転 (逆転) します。

注

・ ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
・ 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が完全に停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
・ スイッチの引金が引けない場合は、正逆転切り替えスイッチを◁側（A 側）または、▷側（B 側）に確実に切り替えてください。

切り替えレバーの操作

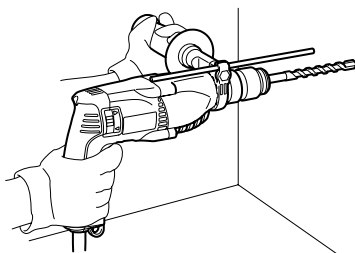
・ 切り替えレバーはロックボタンを押しながら操作してください。
・ の位置に切り替えレバーを合わせると「回転」のみ、の位置に切り替えレバーを合わせると「回転＋打撃」の切り替えができますので作業に合わせてお選びください。

注

・ 切り替えレバーは必ずそれぞれのモードマークに確実に合わせてください。切り替えレバーとモードマークがズレた位置で使用しますと故障の原因となります。
・ 切り替えレバーの操作は停止のときに行ってください。

コンクリートへの穴あけ方法

⚠警告

コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刃先が接触した場合に、本機が反動で回ることがありますので、サイドグリップをしっかり固定し本機を両手で確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

1. 切り替えレバーを 「回転 ＋ 打撃」にセットしてください。
2. 穴あけ位置にドリルビットの先端を当ててからスイッチの引金を引きます。
3. 本機が浮き上がらない程度に軽く押し付けて作業してください。無理に押さえつけても作業能率は上がりません。
4. 深い穴で粉じんがつまりやすいときは、超硬ドリルを回転させながら大きく前後させ粉じんを排出させてください。

注

・ 無負荷時はビットが振れることがありますが、実際の穴あけ作業時はセンターが定まるため、穴あけ精度に影響はありません。

使い方

トルクリミッタについて

・ ビットに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、ビットにモーターの回転が伝わらない構造になっています。

注

- トルクリミッタが作動したときは、すぐにスイッチを切ってください。
- ホールソーなど、ひっかかりやこじれの発生しやすいものはトルクリミッタが作動しやすいため、使用に適していません。

ダイヤモンドコアビットについて

⚠警告
必ず労働安全規則や電気整備の技術基準などに規定された、感電防止用漏電しゃ断装置の設置された電源で使用してください。 無い場合は、マキタ純正漏電しゃ断器を使用してください。 本機は作業者を感電事故より守るため、二重絶縁構造を施してありますが、より安全を期すために、必ずゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。 ・ 感電や事故の原因になります。

・ ダイヤモンドコアビットによる穴あけをされる場合は、切り替えレバーを にセットしてください。「回転」になります。

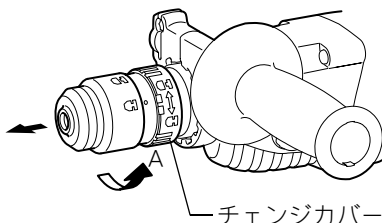
注

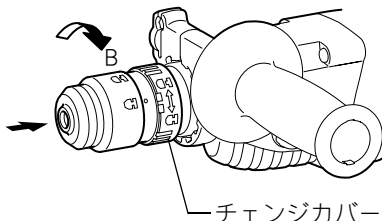
- 「回転＋打撃」で穴あけすると刃先の欠け、異常磨耗でダイヤモンドコアビットが使用不能となります。
- ダイヤモンドコアビットはφ65mm 以下のものをご使用ください。

SDS プラスビット用クイックチェンジチャック、クイックハンマチャックの取り付け・取りはずし方

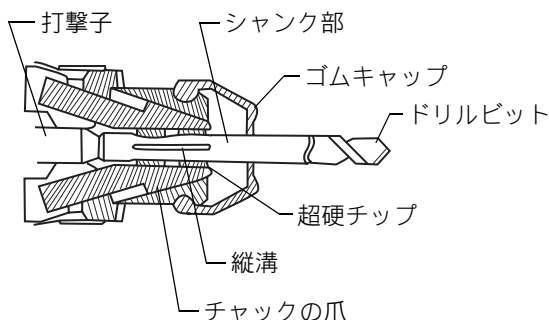
・　本機は SDS プラスビット用クイックチェンジチャック（標準付属品）を取りはずして、クイックハンマチャック（別販売品）を取り付けることができます。チャックを交換することでストレートシャンクビットが使用できます。

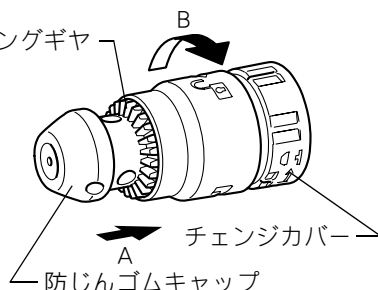
取りはずし方

・　チャック先端を手で固定してチェンジカバーを A 方向に回すとロックがはずれ、本機から取りはずせます。

取り付け方

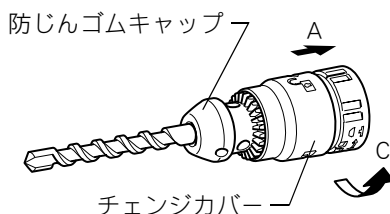
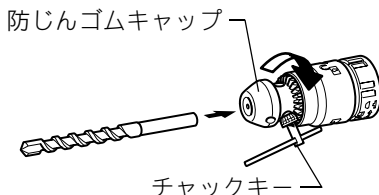
・　チャックを奥まで差し込み、チェンジカバーを B 方向に回すと本機に固定されます。

別販売品の使い方

クイックハンマチャックについて

- クイックハンマチャックは、ハンマドリルに取り付けて「回転＋打撃」(コンクリート、石材等の穴あけ) で使用できます。「回転 ＋ 打撃」の状態で使用する際に、回転力と打撃力を共に伝達できる特殊な構造になっております。
- チャックの爪に超硬チップを付けており、「回転 ＋ 打撃」の状態で数個穴あけすると、打撃子がドリルビット後端を打撃し、この打撃力で超硬チップがドリルビットのシャンク部に縦溝を刻みます。
- 縦溝が刻まれると、ドリルビットはチャック内で軸方向に移動できるようになり、かつチャックと一体で回転できるようになります。この状態になると、打撃力と回転力が、ドリルビットに伝達され、正常な穴あけができます。
- 「回転」の状態では、普通のドリルチャックと同様に使用できます。

クイックハンマチャックへのビットの取り付け方

- 本機にクイックハンマチャックを取り付けます。
- チャックカバーをA方向にスライドさせ、そのままB方向に回します。(ロックが解除され、リングギヤが回せるようになります。)
  注意：手順通りに行われない場合、リングギヤは回りません。

別販売品の使い方

・ リングギヤを回して、チャックの爪を広げ、ビットを一番奥まで差し込みます。
・ リングギヤを矢印方向に回してビットを仮締めした後、チャックキーを時計まわりに回して締め付けます。この際、1 箇所だけをチャックキーで締め付けず、3 箇所を均等に締め付けるようにしてください。

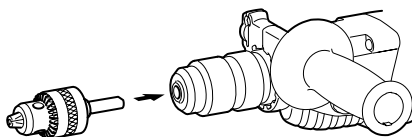
・ チャックカバーをＡ方向にスライドさせ、そのまま　C　方向に回します。(チャックカバーが前方へスライドし、ロックが完了します。)
・ ビットをはずすときは、ロックを解除してからゆるめてください。

注

・ 鉄工用、木工用のストレートビットをご使用になる場合は、ドリルモードで使用してください。
・ 防じんゴムキャップをはずす場合、キャップ側面の穴にチャックキーのハンドル部を差し込んではずすと便利です。
・ 注意：防じんゴムキャップを損傷したまま使用されますと、チャック内部に粉じんが入り故障の原因となりますので新品と交換してください。
・ クイックハンマチャック使用時は防じんゴムキャップを装着してください。

別販売品の使い方

穴あけ方法

1. クイックハンマチャックを取り付けてください。またはSDSプラスビット用クイックチェンジチャックにドリルチャックアッセンブリを取り付けてください。

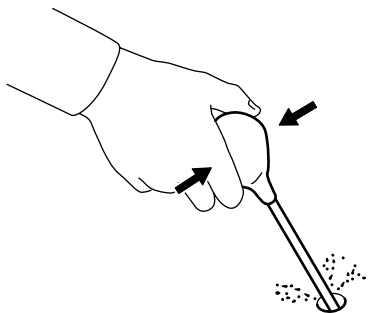
2. 切り替えレバーを 「回転」にセットしてください。
3. 金属に穴をあける場合は、穴をあける位置にセンタポンチでクボミを作り、そのクボミにキリの先を当てがえば、キリの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。
4. 金属の穴あけ時にはキリに油（マシン油など）をつけて作業してください。鉄工キリは φ13mm、木工キリは φ24mm まで使用できます。

注

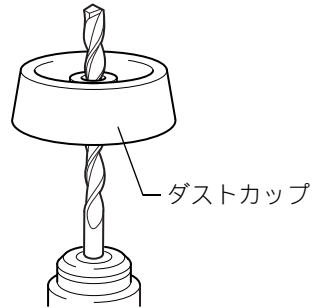
- **本機を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業能率が低下するばかりでなく、本機の寿命も短くなります。**
- **ドリルチャックアッセンブリを「回転＋打撃」で使用しないでください。「回転＋打撃」で使用しますと、ドリルチャックが破損する場合があります。また、逆転時にドリルチャックが脱落してしまいます。**

ビット用グリスについて

- ビットの挿入部をきれいにし、丸溝部にビット用グリスを少量（0.5 ～ 1 g 程度）塗ってください。磨耗しにくくなります。

スポイド

- 穴あけ後、穴の中に残った粉じんを取り除くときに使用します。

ダストカップの使い方

- 上向きで作業するときの、粉じん受けにお使いください。

注

- ダストカップを材料に当てて使うと集じん性はアップしますがダストカップと材料がこすれ、材料に黒い跡が残ることがあります。
- 跡が残らないようにするにはあらかじめ穴あけする深さまで、ダストカップからビットを出してお使いください。この場合、粉じんがまわりに飛ぶことがあります。

保守・点検について

⚠警告
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。 ・　電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの登録販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(31) 6501
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431

事業所名	電話番号
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771

事業所名	電話番号
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

882245-0

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)